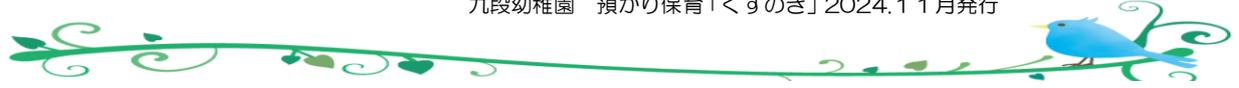




くすのき便り 6号

九段幼稚園 預かり保育「くすのき」2024.11月発行



昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。くすのきでは、ちゅうりっぷ組さんが困っているとゆり組とさくら組のお兄さん、お姉さんが手伝ってくれたり、一緒に電車ごっこ遊びをしたり製作をしたりして異年齢の関りを楽しみ、元気いっぱい遊んでいます。今回のくすのき便りでは、自然となかよしの様子や毎週、楽しみにしている「うごく音えほん えほんシネマ」の様子をお知らせしたいと思います。

自然となかよし

10月、ウレシパモシリの高橋先生、大工先生がくすのきの子もだちに森からの贈り物の木箱を届けに来てくれました。木箱にはいろいろな形の木片が入っていて、その木を積み上げて神社の鳥居やスカイツリーを作ったり、木の溝に木片を入れてトンカチを作ったり、横一列に並べて木琴のように叩いて音を鳴らしたりして楽しんでいました。木箱がくすのきの部屋に届き、森を感じながら木と触れ合っています。



えほんシネマ



毎週楽しんでいる「うごく音えほん えほんシネマ」。さくら組さんとゆり組さんが中心となり「チケット係」「案内係」ジュースやポップコーンなどを売っている「売店係」が今年度も引き継がれ、活躍しています。

えほんシネマで上映した作品をいつでも絵本で見られるように、えほんシネマコーナーとして設定しています。



今までに上映したえほん 一例

- ライオンの風をみたいちにち (佼成出版)
- おばけのドレス (ehonjuku)
- そうじきのなかのボンボン (フレーベル館)
- だれかのプレゼント (文溪堂)

🕒 だんの くすのき 🕒 まいる にこにこ 🕒 んびりのびのび 🕒 もちよく

『くすのき』では、のんびり、ゆったりとした雰囲気の中、一人一人の子もだちが安心感をもって、自分のペースで自分の好きな遊びができる場となるように、また、自然に異年齢児と一緒に遊べる場となるように、願いを込めて保育を行っています。